

谷が 市長の深い話



深谷市長 小島 進

市民の声は市政の源

平成23年7月から、深谷市の全単自治会を訪問し、対話会を続けています。ここでは、日本の政治や深谷市の置かれている状況、その上で財政構造の改革を行い、未来へ適応できるまちづくりがどうしても必要であるとお話続けてきました。

また、深谷市は、東京へも通勤可能な距離にあり、災害も少なく、自然も豊かで、都市として持つ潜在能力の高さもアピールしてきました。日常に追われ、ともすれば見失いがちな誇れる郷土という視点を、もう一度認識して欲しいと思っただけです。

これまで4,000人を超えるかたにご参加いただきました。そして、約1,000人のかたの『地域の声』『生の声』を聞くことができ、このたびの平成25年度予算は、この『声』を重視して編成に当たりました。もちろん現下の厳しい財政状況のなか、あれもこれもと大盤振る舞いはできません。その中でも、わたしが実際にこの目で確認した、狭路であったり、または未舗装の生活道路整備を積極的に進めるほか、防災対策の推進や排水路整備など生活に密着した予算の配分を行いました。

これは市民の皆さんの『声』が多かったことはもちろんですが、現在住んでいる皆さん、そして新しくお越しただく皆さんにも、これからも住み続けていただけるよう、先行投資的な意味合いもあります。

『市民の声を市政に活かす』この言葉を肝に銘じて、今後も事業を展開してまいります。どうぞこれからも、皆さんの声を聞かせたいです。

ありがとうの手紙



最優秀賞
中学校の部
家族のみんなへ

深谷中学校1年(現2年) 金谷実紅さん

私が行き詰まった時、家族みんなで支えてくれてありがとう。

私が悲しい時、楽しい話で忘れさせてくれるお兄ちゃんありがとう。私が悩んでいる時、自分の事のように話を聞いてくれるお姉ちゃんありがとう。私達を支えるために、フルパワーでがんばってくれているお父さんありがとう。へんなツッコミで、家の中に太陽を灯してくれるお母さんありがとう。かわいい妹、生まれてきてくれてありがとう。みんなに支えられて私が私でいられます。



みんなの声BOX

Q 道路が陥没して穴が開いています。自転車や自動車の通行に支障があります。修繕をどのようにお願いしたらよいですか。

A 修繕が可能な箇所は、緊急修繕を行いますので、道路管理課に連絡してください。

市では、道路のパトロールを実施していますが、市道全線をパトロールするには、時間が必要です。道路の陥没などを見つけた場合は、道路管理課へ連絡してください。ご協力をお願いします。

問い合わせ 道路管理課 (☎574 - 8861)



TOPICS 1 家庭保育室の保育料を補助

平成25年度から、家庭保育室の保育料の補助を開始しました。対象 次のすべての要件を満たすかた

- ①市内在住
- ②市と契約している市内の家庭保育室に、3歳未満の乳幼児を預けている
- ③市税の滞納がない

料(保護者の所得から算定)との差額を補助します。限度額は40,000円です。
※補助金は家庭保育室に支払われます。保護者はその差額を保育料として家庭保育室へ支払ってください。
申し込み 入室している家庭保育室を通じて申請してください。
問い合わせ 保育課 (☎574 - 8064)

TOPICS 2 人事異動く副市長1人体制に

副市長の退任



河村賢二 副市長が3月31日をもち退任

し、4月1日から荒川上流河川事務所長として起用されました。今後は副市長1人体制となります。

委員の選任 平成25年深谷市議会第1回定例

- 会、各委員の選任について議会の同意を得ました。
- 委員の皆さんを紹介します(敬称略)。
- ・教育委員会委員 井上美佐子
 - ・公平委員会委員 梅村進
 - ・固定資産評価審査委員会委員 飯塚光男
 - ・固定資産評価員 竹内章公
 - ・行政監察員 南雲芳夫

市の情報をテレ玉で!



喜うしがもっと楽しく! もっと便利に!

市では、テレ玉(地上デジタル放送の3チャンネル)でのデータ放送を開始しました。身近なテレビを通して、市からのお知らせを提供します。緊急時には防災行政無線や市ホームページを補完する手段として活用していきます。

データ放送を視聴するには

- 1 テレ玉を視聴する。
 - 2 リモコンの【d】ボタンを押す。
 - 3 テレ玉のデータ放送画面が開く。
 - 4 画面左下の一覧から『深谷市からのお知らせ』を選び、リモコンの【決定】ボタンを押す。
- 問い合わせ 秘書課 (☎574 - 6631)

市職員定期人事異動

4月1日付けて人事異動を行いました。部長級職員の新体制は、次の通りです。
※()内は旧職名です。
秘書室長 長原一、企画財政部長 新井進(企画財政部付・大里広域市町村圏組合派遣)、総務部長 山口清、市民生活部長 塚原寛治、福祉健康部長兼福祉事務所長 沢野進、こども未来部長兼福祉事務所長 大澤栄次(川本総合支所長・市民生活部次長兼務)、産業

振興部長 吉田一郎、環境水道部長 橋本実、都市整備部長 榎本守男、検査監 八ッ田広治、消防本部消防長 栗田理一(企画財政部長)、会計管理者 増野誠、議会事務局長 柴崎和弘、監査委員 事務局長 吉村善也、農業委員会 事務局長 田口英夫、教育部長 島崎保(教育委員会教育次長)
問い合わせ 教育総務課 (☎574 - 5811)、行政委員会 (☎574 - 6664)、人事課 (☎574 - 6636)

兌換制度の廃止

だかんせいど

明治八年（一八七五）八月、栄一が新たに頭取となり再出発を果たした第一国立銀行ですが、さらに困難な状況が待ち構えていました。

そもそもこの国立銀行制度の根幹を成していたのは、銀行紙幣が正金にいつでも交換できるという兌換制度にありました。これが災いして正金への交換需要のみ多く、銀行紙幣が思うように流通しない事態に立ち至ったのです。その原因は、当時のわが国における金銀の交換比率にあり、外国と比べて少ない銀で多くの金に交換できるため、金に対する需要が異常に膨らんでしまったのです。

国立銀行条例の生みの親ともいうべき栄一にとっては断腸の思いであったと思いますが、栄一は決

断して、十二月、第二・第四・第五の各国立銀行と連署の上、兌換制度の廃止を大蔵省に嘆願するに至ります。

これを受けて大蔵省では、明治九年（一八七六）十月、改正国立銀行条例を公布し、兌換制度を廃止します。この条例には、抵当や紙幣発行高の制限の緩和、引換準備金の低減などが織り込まれており、ここによりやく銀行業務を存続することが可能となりました。これにより翌年以降国立銀行の創



▲兌換紙幣「日本貨幣型録」（日本貨幣協同組合）
 小野組の破綻により、頭取名が小野善助から渋沢栄一の名前に書き改められています。

立が相次ぎ、同十二年（一八七九）には百五十三の銀行数を数えるまでになりました。

こうした中、栄一の第一国立銀行は先輩銀行として、後続銀行の設立や運営に対して指導・助言することを惜しみませんでした。

近代日本経済の草創期に当たり、その牽引役として、栄一の果たした役割はまさに絶大でした。

明治十年（一八七七）七月には、銀行業者間の連絡機関として「折善会」（現在の東京銀行協会）を組織します。翌年八月には、銀行業界初の海外支店として韓国釜山に支店を開業します。同年八月には、広く商工業者の発展を図るために東京商法会議所（現在の東京商工会議所）を組織し、初代会頭となります。（文：新井慎二）

『折善会』

国立銀行の急激な増加に伴い、同業者の親睦と利害得失を商議する機関として設立されました。

第一国立銀行本店で毎月1回会合を開催し、銀行業務の整備、同業者の資格向上、新しい知識の習得に努めました。特に栄一は海外の著作を翻訳させるなどして、たびたび自ら説明を試みしています。

物語の手引き

『日本初の民間銀行・第一国立銀行』

国立銀行という呼称は、モデルとなったアメリカの銀行『ナショナルバンク』という言葉の翻訳したもので、国立＝国営ではありませんでした。第一国立銀行は、国の条例に基づき営業した、日本初の民間銀行でした。

©渋沢史料館

キラリ 熱・中・時・間

～たけかわ星の会～



事務局長
 福島 昌大 さん

夢追う力与えたい

毎月第3土曜日にもくせい館で開催されている天体観望会。その指導に当たり、星空の魅力を伝えているのが、たけかわ星の会（以下、星の会）です。

星の会の発足は昭和50年ごろ。旧川北中学校科学部のメンバーが成人後再会し、結成しました。「科学部屋にあった小さな天体望遠鏡で、初めて土星を見たときの感動が忘れられなくてね」。科学部の部長でもあった福島さんは、当時を振り返ります。会員のみの観望会に始まり、やがて中学校や福祉施設などで観望会を開催。地域に天体観望の魅力を広めていきました。

平成7年、この活動が大きな美を結びます。もくせい館の建設にあたり、シンボルとして天文台が設置されることになったのです。天体望遠鏡の選定には星の会も携わり、このことがまた新たな目標に繋がります。平成8年に、宇宙飛行士の土井隆雄さんがもくせい館を視察。星の会に、「宇宙をめざ

※JAXA＝宇宙航空研究開発機構



▲川北小学校での観望会（平成25年2月2日）

せ」という言葉を贈りました。「この言葉と、夢に向かって努力する大切さ」を子どもたちにも伝えて欲しい」と、星の会はこれ以降、土井さんの講演会を地元で開催するため奔走します。JAXAや市への働きかけのほか、スペースシャトルの打ち上げ時にはフロリダまで応援に駆け付けるなど活動を続け、平成23年9月、ついに深谷市民文化会館での開催に至りました。

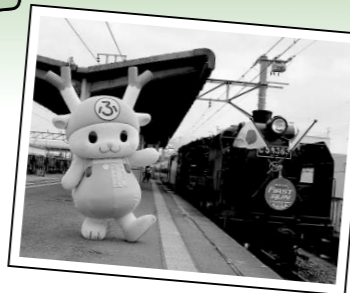
現在星の会は、もくせい館での観望会に加え、川北北・南小学校で学期に1度観望会を開いています。「子どもとき自分たちが味わった感動を伝えたい」との思いは、結成から30年以上を経た今もなお、変わらぬ輝きを放っています。

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか散歩

② 武川駅編

秩父鉄道のSL・パレオエクスプレスの運行開始記念イベントに、武川駅へ行ってきたよ。SLで秩父に向かうみんなに、深谷のPRをしたんだ。今度は、川本地区に遊びに来てくれるとうれしいな。



◀SLが停まるのは、市内では武川駅だけなんだけど、駅はほかにも小前田駅や永田駅、明戸駅があるんだよ。秩父鉄道の駅が4つもあるなんて便利だね。花園小学校の子どもたちは、永田～小前田間を利用して通学しているんだって。



▶武川駅前の花壇は、市民ガーデニングボランティアの皆さんがきれいにしてくれてるんだ。疲れて帰ってきて、お花が出迎えてくれるから、みんな元気になれるね。お花のある生活っていいよね。

ふっかちゃんのつぶやき



5月18日(土)には、秩父鉄道広瀬川原車両基地で『わくわく鉄道フェスタ』をやるんだって。ふっかちゃんも遊びに行くね♪

※本コーナーの全編を通じて、登場する人物については、歴史上の人物としてその敬称を略します。また、年齢については、当時の通例に従い数え年の表記とします。